



# 安濃津だより

令和4年3月  
第29号  
発行・編集 安濃津ガイド会  
URL: http://www.zc.ztv.ne.jp/anotsu/

「コロナ禍だから出来たこと」  
会長 藤本 智恵子

平素より安濃津ガイド会の活動にご理解、ご協力をいただき有難うございます。昨年度に引き続き、今年度もコロナ情報に翻弄される一年でした。その中で、十月から十一月にかけて「津を極める」巻の三、「津城」を極める！を無事開催できましたことは、ご協力いただいた皆様のお陰と感謝申し上げます。

「津城跡 石垣巡りマップ」を活用したいと計画した「津城」を極める！は、津城を三回に分け、それぞれ視点を替えてのガイドでした。

その第二回「津城の橋」を極める！は、津ケーブルテレビさんに取材をしていただきました。事前に電話で質問をお受けした中に、「今までにもこのような事業を何度かされたと思いますが……。」というのがあります。安濃津ガイド会主催の自主事業というのには数えるほどしかありません。このような事業は始めてですとお答えするとビックリされてしまいました。今まで県内外からのバス旅行のお客様が多く、なかなかこのような事業ができませんでした。コロナ禍だから出来たのだと思います。

また、「参加費五百円」とあるが、参加費をとるのはコロナ禍でガイド依頼が減ったためか。との質問がありました。五百円の内訳は、保険料、お土産代三百円、津城復元の募金百円、資料代と説明。小学生以下は今から興味を持っていただけるように無料で同じように対応する。お土産は、津の銘菓を知っていただくのと同時に、コロナ禍なので多少でもお店の売り上げに貢献できればとも。そして、会からの持ち出しもあると説明させていただきました。

当日、取材は最初の方だけとお聞きしていただきました。最後まで同行いただき、終了後もガイドにインタビューしていただきました。この事業の経験をもとに、来年度早々に開催予定の、続日本一〇〇名城認定 五周年記念イベント「津城をもっと城にい！」の計画を進めています。これからも津の良さ、津城跡の良さを多くの皆様にご案内できるように感謝をし、活動を続けさせていただきますので、今後とも当会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 紙芝居の上演

十月十日、十一月三日にガイドネット主催の紙芝居上演会が「道の駅かわげ」であり、当会の藤本さん、山本三千代さんが上演されました。両日で大人一二十五人、子供三十五人、合計一六〇人とたくさんの方々に観覧いただきました。

また、十月三十一日にイオン津南で開催された「三重工キスポ2021」において、紙芝居の上演会があり、藤本さん、山本三千代さんが上演されました。大人五人、子供六人、合計五七人の方々に観覧いただきました。



## 巻の三「津城」を極める！をガイド、サブガイドして

令和四年四月六日（しるの日）に、津城は続日本百名城認定五周年を迎えます。それを機に、改めてお客様に津城を丁寧に案内し、津城の素晴らしさを再認識していただく目的で、津城を象徴する「石垣」「平橋」「藤堂高虎」をメインに案内することになりました。

十月三十一日（日）に開催された第一回は「津城の石垣」を極める！と題して行われました。開始時は雨模様でしたが暫くするや止みました。三班に分かれ、二時間かけて「津城跡石垣めぐりマップ」を見ながら、十六カ所の石垣の見どころや石垣の積み方や加工の仕方などを案内いたしました。

事前に詳細な打ち合わせを行い、ガイドとサブガイドの役割をきちんと決めてガイドを行ったので、スムーズなガイド活動ができました。ガイドが終わった後、大きな拍手をいただき、「すくよかつたから申し込ませてもらいます」とたくさんの方が申し込んでいただきました。



第1回ガイドの様子

十一月十四日（日）に開催された第二回は、「津城の橋」を極める！と題して行われました。この日はお天気にも恵まれ、絶好の「お城めぐり日和」でした。

津城二の丸に存在した十二基の平橋跡をスマホの地図（三重びらり「享保四年長田三郎兵衛改津御城下分間絵図」）を使用してガイドを行いました。今回は現存しない建物の案内となるので、三名のガイドそれぞれで、お客様が興味を示されるような資料を用意いたしました。

二の丸は本丸のような正方形ではなく、歪な五角形となっており、一見四角形に見えるため見えない一角より攻撃や逃走を計れる設計が藤堂高虎の縄張術であることや、伊勢街道に面している「藤堂仁右衛門丑寅橋」と「藤堂仁右衛門西橋」の外壁は見映えを考えて下見板張りではなく、白漆喰塗り籠めてあったことをお話いたしました。

また、最後に見学した「藤堂出雲南橋」と「藤堂出雲北橋」では、土塁の土盛りがはつきりと分かります。また、高差を見ることができ、お客様からは、「津城にそんなにたくさん橋があったんですね」と驚きの声も聞かれました。

また、最後に見学した「藤堂出雲南橋」と「藤堂出雲北橋」では、土塁の土盛りがはつきりと分かります。また、高差を見ることができ、お客様からは、「津城にそんなにたくさん橋があったんですね」と驚きの声も聞かれました。



第2回ガイドの様子

十一月二十八日（日）に開催された第三回は「津城主 藤堂高虎」を極める！と題して行われました。前日と打って変わって穏やかな小春日和となりました。

今回は、藤堂高虎ゆかりの高山神社、寒松院、浄明院、津観音を巡りました。三つのガイドの杉山さんは、大変詳しい資料を揃えて、皆さんにユーモアを交え分かりやすくお話ししていらっやいました。お見せする資料も親しみやすい「手作り感」があり、A3サイズの大きな資料なのでお客様には大変分かりやすかったと思います。

ガイドが終わった後、「お話しが上手な杉山さんに今度は違う場所を案内してもらいたい」「藤堂高虎にゆかりの寺社がこんなにあって驚いた」「何気なくお参りしていたお寺が藤堂高虎とこんなに関係があるなんて知らなかった」「またこんなイベントがあればぜひとも参加したい」などの嬉しい感想をいただきました。



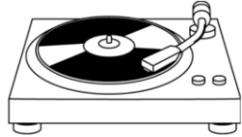
第3回ガイドの様子

第一回は小学生三名を含む二十三名、第二回は小学生二名を含む二十五名、第三回は小学生二名を含む二十名の方に参加していただきました。三回とも参加していただいたのは小学生二名を含む十四名でした。お客様に「津城」と「藤堂高虎」の魅力をご詳しく知って頂くいい機会になったと思います。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。（深見 和正）

また、各回、アンケートを実施し、お客様から貴重なご意見をいただいておりますので、それらは今後の活動やガイドに生かしていきたいと考えています。（深見 和正）

## デジタル化に思うこと

昨今のデジタル技術の進歩と活用範囲の広がりにより、観光施設においてもその導入が進んでいます。スマホを使った見どころの音声案内や画像提供はもちろん、AR/VRを導入することも増えつつあります。これにAIを使ってお客様の疑問や質問に的確に答える技術が確立されれば、スマホ等のデジタルツールがあれば、観光ガイドは不要になり、もしかすると安濃津ガイド会の存在意義にも関わってくるかも知れません。とはいいつつ、チェキやレコードの復活から考えると、アナログ/人にはデジタルにはない、何かがあるのかもしれない。観光ガイドも、例えばお客様の表情を見ながら話題を興味のある方向に持っていくことで楽しんでいただく等、人にしかできないところに注力し、一方、デジタル技術を使った方が良いガイド資料等にはその技術をどんどん使っていくことが大切ではないでしょうか。デジタル技術と共存することで、ガイドの充実化を進めていければ良いのかなと思います。（坂口 義孝）



## ガイド実績

月	日	場所	人数
十月	十日	道の駅 紙芝居	五十五名
十月	二十一日	橋南公民館講座	二十三名
十月	二十四日	伊勢新聞	一名
十月	二十九日	橋南公民館健康ウォーク	十六名
十月	三十一日	巻の三「津城」を極める！ 第一回「津城の石垣」を極める！	二十三名
十一月	二日	イオン南店 紙芝居 一身田公民館講座	十名 四十七名
十一月	三日	JRさわやかウォーク 市内定点ガイド	一四六一名 百五名
十一月	三日	道の駅 紙芝居	七名
十一月	十三日	歩食&アドベンチャー 津城跡・津観音	七名
十一月	十四日	巻の三「津城」を極める！ 第二回「津城の橋」を極める！	二十五名 二十四名
十一月	十八日	橋南公民館講座	二十四名
十一月	二十日	四天王寺・初午寺 クラブツーリズム	十一名
十一月	二十一日	津城跡 津愛活会	十五名
十一月	二十八日	巻の三「津城」を極める！ 第三回「津城主 藤堂高虎」を極める！	二十名 十九名
十二月	十六日	橋南公民館講座	十九名
十二月	二十四日	橋南公民館健康ウォーク	十七名
十二月	二十四日	青木地蔵尊コース	十四名
十二月	二十四日	豊田中日文化センター	十四名
十二月	二十四日	津城跡	十七名
十二月	二十日	橋南公民館講座	十八名
十二月	二十日	阿弥陀寺・浄安寺	十八名
十二月	十七日	橋南公民館講座	十八名
十二月	二十五日	橋南公民館健康ウォーク	十五名
十二月	二十五日	密蔵院・四天王寺	十五名
十二月	二十五日	ガイドネット十周年記念展	四十名
十二月	十七日	津駅周辺二コース 四天王寺・初午寺コース 偕楽公園・彰見寺コース 橋南公民館講座	二十一名 二十一名
十二月	十七日	津城跡	二十一名

## 詰所の実績

● 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一時閉所としたため、閉所日は二十二日間。

月	人数
十月	六十三名
十一月	百二名
十二月	五十名
一月	二十名（十五日から閉所）
二月	二十名（十五日から閉所）
三月	二十名（十五日から閉所）

## 津観光ガイドネットワーク協議会 ガイド研修講演会「津の豪商と津藩」

講師 浅尾悦生

資料としA3で7枚のプリントに、文字と絵がびっしり・・・  
オー今日も長くなるなど覚悟の2時間30分でした。

内容 1:伊勢商人の進出、2:伊勢商人のきまり、3:津町並古  
絵図に見る豪商、4:津の豪商たち「田端屋の生い立ち」、5:  
明治大正昭和の田端屋 川喜多家 中条家 鍵屋（河辺忠四  
郎）、6:豪商と津藩 こうした内容で「江戸に多きを云て、伊  
勢屋 稲荷に犬の糞と云う」説明がよくわかりました。

津藩の幕末の借金（御用金 氷上金 献金 藩札）をすべて  
津の豪商たちは引き受け、そのマイナス面を商人のメリット  
と考え経営戦略・商機・保護的存在として、プラスにしまし  
た。また津藩も豪商に借金することで、農民の年貢高騰にな  
らず、一揆のリスクを軽減できたという解説には・・・ナルホド  
ネーと感心しました。

江戸の大伝馬町に伊勢（津 松坂）商人の江戸店が大繁盛  
したのは①松坂・津に上質な木綿が栽培、②伊勢海での海上  
輸送/交易流通、③伊勢商人の店掟や団結、④経営方針の一  
本化・一体化と人事・昇進の組織化 などがあって豪商をつ  
くりあげてきました。

また豪商は三都に出店し、手代に経営をまかせ、主人は伊  
勢で文化と趣味の世界に生きる・・・この姿が大店の商人像  
なのだそうです。豪商の大店はほとんどが、

大門 京口立町 中の番町 宿屋町 地頭  
領町 だったが、唯一八町で大繁盛した鍵  
屋（河辺忠四郎）さん・・・ほうずき栽培で  
大利益（薬 ヒスタミン 墮胎薬）をあげ  
大阪銅座を営み、松坂の長谷川家とも関係  
した話は興味深く面白かった。あと西田会  
長の「田端屋の最後は なあああ」という  
不思議なつぶやきで終了しました。

(杉山 哲夫)



広重 大伝馬町木綿店

### 現地研修会に参加して 「しょうげん坊と八つの橋を巡る」

各ガイド会が持ち回りで行う研修会。今回  
は美里ボランティアガイド会の案内で、十月  
七日美里水源の森から長野川中流域を中心と  
した、約三・七kmの橋巡りの散策。

水源の森駐車場集合、受付。ガイドネット  
西田会長さまより、挨拶の中で水源の森がで  
きた理由、経緯のお話があり。産廃業者が、  
産業破産物処分場として利用開発計画が有る  
ことを知り、地元住民が中心となり、津市民  
の水源を守ろうと水道取水口、上流のこの地  
を重要な水源かん養林として残そうと開発中  
止を訴え、市民の方達の大変な努力と行動で  
この地の自然が残され、子供達が自然環境  
保全等の様々な体験や知識を学べる場とし  
て、この森が守られたという、地元住民はじ  
め関係者の大変な苦労があったというお話  
が有りました。

参加者は、三班に分かれて美里ガイド会の  
案内で研修散策。水源の森では、自然を守り  
ふれ合う様々な取り組みのゾーンを巡って自  
然について学び、その後、南長野地区中心に、  
清芳寺入口に残る、一万度碑、念仏碑、今で  
も灯明を上げておられるという御神灯碑を見学。  
集落の四ツ辻にある、開下の地藏さん、その  
脇には余り見えないこと  
が無い珍しい、廻国納  
経石塔、等古い石造物  
を巡り、途中の生活改  
善センター前では「し  
ょうげんぼう」の紙芝  
居を上演して頂き、長  
野川や支流沿いの八  
つの橋を巡って、橋や



研修会の様子 一万度碑

### いまさらに思い出す事

2021 年末に、津ロータリークラブ 70 周年記念に講演  
（知っておきたい津の歴史と町）をしました。その折に担  
当者と話題になった事を紹介します。

質問① なぜボランティアガイドをしているのですか？

返答 普段なにげなく通り過ぎる、日常の津の町には歴史  
や文化の魅力が、たくさん隠れています。お寺や建物や街  
道・川・マンホール・木・石碑・・・

そうしたものの、景色や香りや状況などから、津の むかし  
今 未来 を思い出して、楽しんでほしいからです。

質問② ガイドさんは「資料」を手作りするのですか？

返答 お客さんの心をつかむには、津の見所ガイドならで  
はの小話（ネタ）と工夫が必要です。スマホやネットです  
ぐには調べられないものを手作りしています。

質問③ 例えば・・・どのようなものですか？

返答 例えば、センターパレスには芸芸学校があり市役所  
であったり、都ホテルだったり・・・日常見かける何気な  
いものに、江戸・明治・大正・昭和 の時代が感じられる  
ものにします。

質問④ ハプニングなどは、ありますか？

返答 ハプニングが起こったら、そのハプニングを大切に  
して、そこへ話を移します。津の産業の話からおぼろタ  
オルになったり、津の特色が、うなぎやあずきバーになっ  
たり、一身田専修寺の国宝の話になったりします。

質問⑤ ガイドで困ることはありませんか？

返答 津城に樹木が多すぎる事、石垣が崩れそうな箇所が  
心配です。あと、高虎公を知る場所がない、肖像画は高山  
神社にあります。高虎公の略年譜やおいたち、歴史などが  
展示されている場所（記念館・資料室 等）がないこと  
です。(杉山 哲夫)

### ホームページリニューアル

安濃津ガイド会のホームページを少  
しリニューアルいたしました。  
URL は以下になります。ご確認とご意  
見をお願いいたします。皆様のご意  
見をいただいで改善していきたいと思  
いますので、よろしく願いいたしま  
す。

<http://www.zc.ztv.ne.jp/anotsu/>



馬越峠のウォークの様子

古道センターの方から、キジの尾の羽が  
先に付いている指し棒で熊野観心十界曼  
茶羅絵解きをして下さいました。がとて  
分かりやすかったです。また意見交換やガ  
イドの方が英語の曼茶羅絵解きをパフォ  
ーマンスして下さるなど有意義な交流会  
となりました。最後にヒノキのキーホルダ  
ーを買って帰路に  
つきました。  
きょうのこの経  
験を今後のガイド  
に生かしてまいり  
たいと思います。  
(山本 三千代)

### 現地研修会に参加して 「豊津地区の巡礼道」

関 守

急に春めいてきた三月十日（木）午後、河芸  
「江」の会のガイドさん達による現地研修会に  
参加した。中世の頃の参宮街道だった「巡礼道」  
（東千里の甕釜冠地蔵堂より別保、一色、影重  
白塚を經由し町屋の常夜燈を通過して）は伊  
勢参宮の主要な街道で、以前にウォーキングで  
歩いたことは有ったが、沿道の景色を眺めるだ  
けで歴史的事は知らなかった。  
今回は河芸のガイドさん達に名所旧跡を  
とって詳しく、且つ色々な地域の方しかご存  
じないエピソードを沢山交えてご説明された。  
最初に松林寺、入り口に樹齢五百年と言われ  
る枝ぶりの立派な松がお出迎え、ご住職さんの  
興味あるお話しから経蔵の中に収納されてい  
る経典、聖徳太子像など紹介された。  
豊津地区の生まれで三重県で画期的な漁法  
を考案した「丹羽虎太郎」彰功碑を紹介され、  
間もなく赤レンガの塀が特徴的な満願寺（通  
称・赤寺）とお隣に分離された西教寺（通称・  
白寺）との経緯を説明された。

巡礼道より西に延びた路地を二百メー  
行った突き当りに一色八雲神社に突き当た  
た。ここが七月十五日に「さるやぶり神事」が  
行われる神社である。直径約九十センチのさ  
る若者が奪い合う勇壮な神事で、前日の山お越  
し、当日の神事、翌日の山降ろしと、期間中、  
この一色地区はお祭りム  
ードに包まれ、神事が行わ  
れる当日は五千人程の客  
が集まること。ただここ二  
年間はコロナ禍でイベン  
トは中止。また地域の若者  
が減少する中で、他府県か  
らの参加者でこの神事も  
継続してきているようだ。



アサギマダラ

川の中に残るもの等  
その地の謂われや、先  
人の残された、用水路  
にまつわる遺構「しよ  
うげんぼう」、こぼたい  
うげんぼう、こぼたい  
ゆについてガイド頂  
き途中では、ふじばか  
まに休む珍しい渡り  
蝶、アサギマダラを見  
ることが出来て、美里  
の奥深い歴史や自然  
を学ぶ事ができました。  
約二時間半の研修会で  
(福 正直)



研修会の様子 八雲神社

### 先進地研修に参加して 熊野古道

三月二十五日（金）、コロナ禍による再々  
延期で二年越しとなったガイドネットの  
先進地研修が三十名の参加で行われまし  
た。「紀伊山地の霊場と参詣道」という登  
録名で二〇〇四年世界遺産になった熊野  
古道伊勢路へ！  
当日は快晴のお天気に恵まれ、馬越峠で  
は熊野古道語り部の会の案内で登りまし  
た。美しい石畳が印象的で、これは昔の人  
が、この地域は良く雨が降るので山道が崩  
れないよう石を敷き詰めたとのこと。  
また古道の周辺にはまっすく伸びたヒノ  
キや杉、シダやコケ等が繁り植物に関する  
お話がよく出ました。私が初めて知った山  
水を逃がす「洗い越し」という溝は、雨上  
がりにわらしの土を洗い落とし安全を確  
保する為だそうです。

お昼は眼下に尾鷲市街を眺めながら薬  
草弁当を美味しくいただきました。下り坂  
は落ち葉の石畳やアスファルト道を滑ら  
ないよう気を付けながら下山。不動の滝、  
行者堂にも立ち寄り野口雨情の詩碑、馬越  
津波供養塔など案内を受けました。  
その後、熊野古道センターで交流会が行  
われましたが、熊野古道語り部友の会の会  
員数百五十五名、実際活動されているのは  
四十名程、英語認定者二十一名の数字には  
ビックリ！

古道センターの方から、キジの尾の羽が  
先に付いている指し棒で熊野観心十界曼  
茶羅絵解きをして下さいました。がとて  
分かりやすかったです。また意見交換やガ  
イドの方が英語の曼茶羅絵解きをパフォ  
ーマンスして下さるなど有意義な交流会  
となりました。最後にヒノキのキーホルダ  
ーを買って帰路に  
つきました。  
きょうのこの経  
験を今後のガイド  
に生かしてまいり  
たいと思います。  
(山本 三千代)

### 安濃津ガイド会の活動実績

- 巻の三「津城」を極める！
- 第一回「津城の石垣」を極める！
- 十月三十一日（日） 参加者二十三名
- 第二回「津城の櫓」を極める！
- 十一月十四日（日） 参加者二十五名
- 第三回「津城主 藤堂高虎」を極める！
- 十一月二十八日（日） 参加者二十名
- 橋南公民館 四天王寺・初午寺コース
- 並びに江戸橋コース下見研修
- 十一月四日（木） 参加者五名
- 橋南公民館 借楽公園コース、並びに
- 伍バッチ展でのガイド下見研修
- 十二月八日（水） 参加者七名
- 橋南公民館 阿弥陀寺・浄安寺コース
- 下見研修
- 一月七日（金） 参加者四名
- ミニミニ勉強会
- 十月～一月の連絡会・役員会開始前
- 十五分程度 講師は安濃津ガイド会員

### その他の活動実績

- ☆津観光ガイドネットワーク協議会
- 連絡会議・研修部会・イベント部会へ
- 参加（毎月第四日曜日）
- 道の駅「津かわげ」で津市の観光案内
- 歴史講演会「津藩の豪商たち」
- 十二月七日（火） 参加者十名
- 講師 浅尾悦生氏
- 現地研修会
- 十月七日（木） 参加者七名
- 担当・美里ボランティアガイド会
- 十一月二十六日（木） 参加者四名
- 担当・みえ歴史街道道美杉
- 三月十日（日） 参加者六名
- 担当・河芸「江」の会
- 交流研修会 北部市民センター
- 一月十九日（水） 参加者七名
- 榊原温泉ふるさと案内人の会、
- 一身田寺内町ほっとガイド会、
- 芸濃ふるさとガイド会
- 交流研修会 新町会館（令和二年度分）
- 二月五日（土） 参加者八名
- 白山道するべの会、谷川土清の会、
- 香良洲ガイド・矢野路
- 先進地研修 熊野古道
- 三月二十五日（金） 参加者七名
- 紙芝居でPR活動 道の駅「津かわげ」
- 十月十日（日）、十一月三日（祝）
- イオンモール津南 十月三十一日（日）
- ☆津城復元の会「コンサート」
- 三月二十日（日） 参加者四名

● 発行にあたり、皆様のご協力に感謝  
いたします。  
(編集担当・坂口)

